

研究課題：小児の脊髄空洞症の臨床経過、検査所見の推移

1. 研究の目的
小児の脊髄空洞症の臨床経過、検査所見（MRI, SSEP）の変化について評価します。
2. 研究の方法
カルテや各部門データを後ろ向きに集め、①受診のきっかけ ②画像データ：MRI 画像 ③生理検査データ：SSEP について検討します。
3. 研究期間
倫理委員会承認後～2021 年3月までです。
4. 研究に用いる資料・情報の種類
2000 年 1 月 1 日から 2019 年 9 月 30 日の期間について、医事データより該当期間に脊髄空洞症と診断された患者さんの主訴、手術の有無とその時期・適応、術式を、放射線部データより MRI 画像の推移を、生理検査部データより SSEP の推移を抽出します。
5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
学会発表や学会雑誌において公表しますが、患者さんご本人の個人情報
が特定されることはありません。
6. 研究組織
研究代表者
埼玉県立小児医療センター 神経科 浜野晋一郎
分担研究者
埼玉県立小児医療センター 脳神経外科 栗原 淳
埼玉県立小児医療センター 神経科 松浦隆樹
埼玉県立小児医療センター 神経科 平田佑子
埼玉県立小児医療センター 神経科 代田惇朗
埼玉県立小児医療センター 神経科 野々山葉月
埼玉県立小児医療センター 保健発達部 菊池健二郎
埼玉県立小児医療センター 保健発達部 小一原玲子
埼玉県立小児医療センター 竹田里可子

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）